地域資源・観光等を活用した地域経済活性化事例

テーマ：B.観光開発・観光振興

事例 B-⑤ 鳥取県・湯梨浜町商工会 「東郷湖周“げんきウォーキング”」プロジェクトによる地域活性化

（平成27年9月取材）

1. 面的支援の概要

（1）活動・支援のきっかけ

① 地域の状況

鳥取県の湯梨浜町は、羽合町、泊村、東郷町が合併して誕生した町で、湖底から温泉が湧き出す風光明媚な東郷湖がある。湖周辺には、はわい温泉や東郷温泉があり、県内有数の観光地であるが、団体旅行より個人のこだわりを重視する近年の観光の嗜好変化や他の観光地との競争激化に伴い、両温泉での宿泊者数の減少が続いている。

② 商工会による活動・支援のきっかけ

町は地域活性化を図るために、平成20年より商工会や他の機関と共に観光開発や特産品開発に取組んできたが、平成23年には「東郷湖・未来創造会議」を起ち上げ、まちのあり方の検討を重ねた。その結果10のプロジェクトが策定され、その内の「ウォーキングリゾートプロジェクト」と「ゆりはまものづくりプロジェクト」の2つを湯梨浜町商工会が主導する形で展開することになった。

ウォーキングは、「ウォーキング立県とっとり」を目指す鳥取県と歩調を合わせたものであり、東郷湖周辺がウォーキングに最適と評されてウォーキング関連の大会が定期的に開かれていることから選ばれたテーマである。

商工会では、進木事務長を中心とした地域活性化委員会が担当し、平成24年・25年度は∞全国展開事業を、平成26年度は県の「打って出る とっとり応援事業」を活用して、「東郷湖周“げんきウォーキング”プロジェクト」を進めた。

上：湯梨浜町ウォーキングコースの案内板。東郷湖を中心に7つのコースが設定されている。コース途中には、7ヶ所のウォーキングステーションが設置され、休息場所や給水サービスの提供、ウォーキング指導等を行ってくれる。他に51の協賛店でもトイレ提供や飲物のサービスを受けられる。写真右は、ウォーキングステーションの看板。

（2）支援概略と特徴

① 支援活動の概要

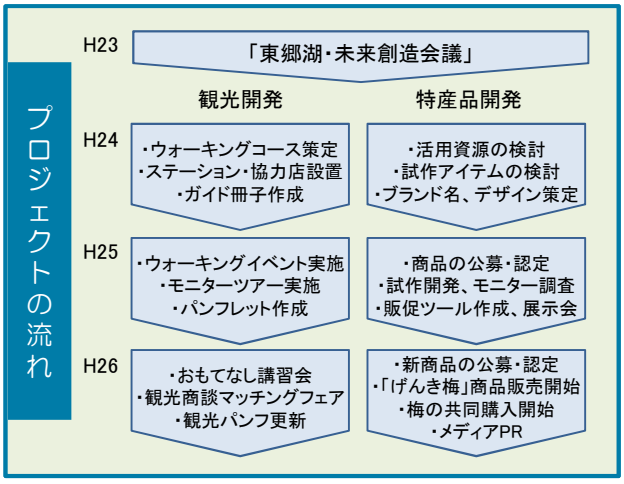
プロジェクトはウォーキングをテーマとした観光開発と特産品開発を軸に、「ウォーキングの町 湯梨浜町」のブランド化を目的として進められた。

観光開発では、平成24年度には7つのウォーキングコースを策定し、ウォーキングステーション・協賛店を設置してガイド冊子を作成した。25年度はコースを活用したウォーキングイベントやモニターツアーを実施し、パンフレットを作成した。26年度は、おもてなし講習会を開催し、「観光商談マッチングフェア」への出展と宿泊プラン策定を行った。

特産品開発では、健康イメージとクエン酸による疲労回復効果から、町の特産品の大玉梅「野花豊後（のきょうぶんご）」を活用することにし、「げんき梅」のブランド名で、3年をかけて試作品開発～モニタリング調査～展示会出展を経て参画事業者による商品化にこぎつけた。現在はアイテム数も増え、認定8商品を販売している。また、商工会女性部の手による野花豊後梅を使ったオリジナル弁当「天女からのおくりもの」も開発した。

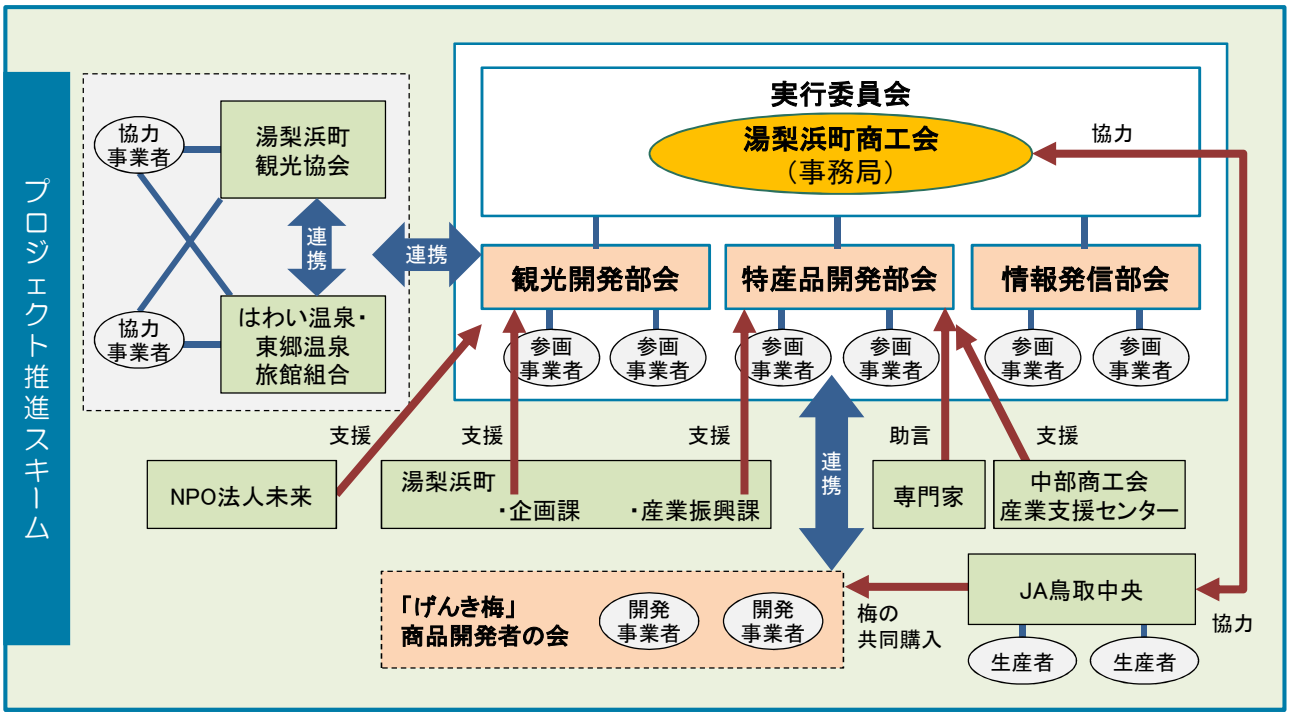
② 支援手法の特徴

本支援は、県の方針と歩調を合わせた「ウォーキング」のテーマ設定に対して、観光開発と特産品開発の2面から取組んでいることが特徴である。また、同テーマの下、町や観光協会、旅館組合や商工会などにJAや事業者も加わり、町を挙げての取組みである点にも特徴がある。観光振興を図る際には、このようなオールプレイヤーでの協力体制を組むことが理想と言える。



鳥取県・湯梨浜町商工会
「東郷湖周“げんきウォーキング”」プロジェクトによる地域活性化

2. 支援組織・地域内連携スキーム



（1）プロジェクト体制・スキーム

活動は、「実行委員会」の下で「観光開発部会」「特産品開発部会」「情報発信部会」により進めるスキームとなっている。ウォーキングイベントなど観光開発は「観光開発部会」が観光協会や旅館組合と連携して行い、「げんき梅」ブランドの運営や商品開発は「特産品開発部会」が開発事業者の会と連携して推進し、「情報発信部会」でまとめて情報を発信している。

平成26年からは、JA鳥取中央の協力を得て、「げんき梅」の原材料の梅を商工会がまとめて共同購入する仕組みも作られ、文字通りオール湯梨浜町で取組む体制となっている。

（2）NPO法人との連携

ウォーキングの普及には、NPO法人未来の協力が欠かせない。NPO未来は、平成17年に隣の倉吉市で設立され、「SUN-IN未来100kmウオーク」など、鳥取県内の様々なウォーキングイベントを運営している。以前より湯梨浜町を含むウォーキングイベントを開催しており、本活動でも実行委員を務め、ウォーキングイベントの企画や運営に協力してくれている。また平成24年には、ウォーキングカフェ「Café ippo（カフェ イッポ）」を東郷湖畔に開店し、カフェ運営と併行してウォーキングイベントを開催したり、ウォーキング指導を行ったりと、ウォーキング振興の主要な役割を担っている。

平成24年から活動に参加し、「げんき梅 飲むゼリー」をI製造・販売している株式会社プレマスペースの伊澤専務（左）と進木事務長。同社は、梅のピューレやパウダーなどの1次加工を行い他の事業者に提供してくれている。また、東郷湖畔の手作り焼き立てパンの店「ぱにーに」は、ウォーキング協力店として活動を支えてくれている。

日本初のウォーキングカフェ「Café ippo」の前に立つNPO法人未来の遠藤副理事長（右）と進木事務長。「Café ippo」では、2本のポール（ストック）を使って歩行運動を補助するノルディックウォーキングのインストラクターを配置し、イベント時には主要なウォーキングステーションともなっている。

鳥取県・湯梨浜町商工会
「東郷湖周“げんきウォーキング”」プロジェクトによる地域活性化

3　成果・地域への影響

①　「ウォーキングの町」のブランド化

活動の甲斐もあって、平成25年には、東郷湖周が（一社）全日本ノルディック・ウォーク連盟の認定するコースに全国で初めて選ばれた。湯梨浜町では、今年度（平成27年）だけでも9つのウォーキングイベントが開かれ、約3,300名の参加者を得るなど、確実にウォーキング愛好者の流入人口は増えている。

またプロジェクトは、県によるウォーキング推進方針との相乗効果を招き、今年の10月には、アジア各国からウォーキング・トレッキング関係者が集まる国際会議「アジアトレイルズカンファレンス鳥取大会」が開かれ、期間中に開催されたウォーキングフェスティバルでは、「東郷湖を巡る道」コースが採用された。来年には、「ワールドトレイルズカンファレンス鳥取大会」が開催される予定だが、湯梨浜町は、町と商工会、観光協会、旅館組合も実行委員会メンバーとなっており、湯梨浜町のウォーキングの町としてブランド化は、着実に進んでいる。

②　「げんき梅」ブランドの開発

地元の梅を活用した特産ブランドが開発できたことも成果で、1年間で約200万円を売上げた。ブランド認定制度や、梅の共同購入や一次加工の仕組みも整い、今まで町内になかった食品加工事業が興ってきており、町の活性化に繋がっている。

③　地域内の連携の強化

本プロジェクトは町を挙げての活動であるため、官民による連携関係が構築された。商工会と町、観光協会や旅館組合、NPOとの協力関係が作れ、加えて今までは関連性の薄かったJAや生産農家との関係も構築できた。特産品開発では、参画事業者による自主的な商品開発会議が開かれており、異業種連携による商品開発も進むなど、民間事業者の連携活動の活性化という効果も生まれている。

右：「げんき梅」ブランドの商品群。統一したデザインで展開している。
下：町内で発見された新種の大玉梅「野花豊後（のきょうぶんご）」。500円玉と比べてもその大きさが分かる。

4　今後の計画

①　「ふるさと名物応援事業」への取組み

進木事務長は、「ふるさと名物応援事業」の活用を考えている。町からウォーキングを名物として宣言してもらい、来年2月には、「ふるさと名物応援事業補助金」を申請して活動を発展させるつもりである。既に会員向けの説明会は開催しており、企画内容を詰めている段階である。本事業では参画事業者のサポートも重要となるので、町には金融支援等を働きかけるつもりである。

②　「げんき梅」ブランドの育成

「げんき梅」ブランドの認知度はまだまだ高いとは言えない。進木事務長は「げんき梅」のお土産品としての定着を図るため、ギフトセットの開発や近畿圏での販路開拓を行う予定である。また、他の特産品も含めた湯梨浜町特産品の流通窓口の一元化を図れれば、と考えている。同時に、原材料の梅の保管に関する支援など、特産品開発をスムーズに進めるための取組みも行う予定である。

5　地域経済活性化のポイント・商工会（指導員）の役割

【ポイント】

① 県の方針と歩調を合わせ、ウォーキングをテーマに活動を進めている。そのため、国際会議「アジアトレイルズカンファレンス鳥取大会」など大きなイベントへの参画が実現できている。
② 観光開発と特産品開発を一つのテーマで括り、同時に進めている。
③ 町を挙げてのプロジェクトであるため、案内看板などのハード整備とイベントなどソフト事業が連動して行われる。「げんき梅」商品の開発も順調に進んでいる。

【商工会（指導員）の役割】

① 行政（町、県）と歩調を合わせ、施策を活用して事業の具体化に取組んでいる。
② 商工会のネットワークを活かし、NPO法人や民間事業者など必要なプレイヤーのネットワークを作る。
③ マスコミへのPRや「げんき梅」ブランド商品の展示会出展など、外部に向けたプロモーションを担っている。